

あしきた町議会だより



うたせ

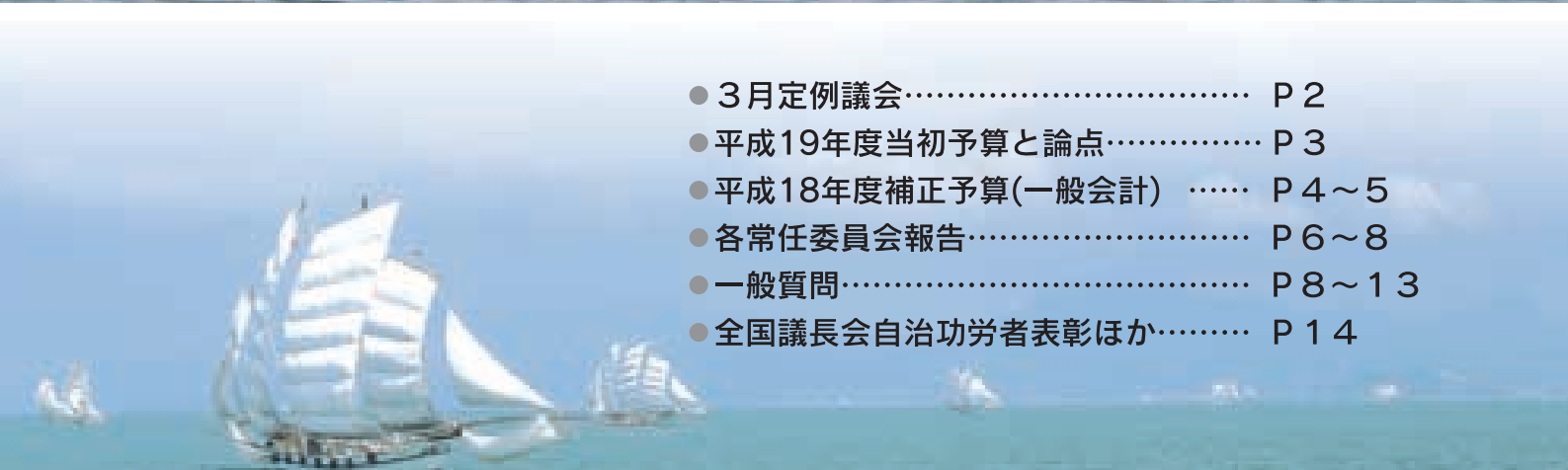
第9号

平成19年
5月17日発行



船出するうたせ船(4月1日)

- 3月定例議会…………… P 2
- 平成19年度当初予算と論点…………… P 3
- 平成18年度補正予算(一般会計) …… P 4～5
- 各常任委員会報告…………… P 6～8
- 一般質問…………… P 8～13
- 全国議長会自治功労者表彰ほか…………… P 14



平成19年度 当初予算を原案可決

歳入では、一般財源の地方交付税で5・1%の2億1,600万円減額となっているが、町税で16・3%の2億2,200万円の増額となり、総体的には0・6%の微増となっている。

また特別会計の当初予算は、9会計で88億6,535万円となっており、予算総額は184億7,435万円となる。

《平成19年度予算》

会計名	予算額	前年対比
一般会計	96億 900万円	△11.2%
国保会計	31億6,890万円	13.9%
老保会計	29億3,080万円	△ 0.1%
介護会計	19億 370万円	△ 7.6%
簡易水道	1億6,650万円	102.3%
農業集落	2億5,450万円	△ 1.2%
生活排水	7,200万円	5.9%
町有温泉	1億 200万円	△18.9%
奨学資金	2,630万円	△ 7.7%
水道事業	2億4,065万円	△ 3.1%
合計	184億7,435万円	△ 4.8%

一般会計の当初予算は、歳入歳出それぞれ96億900万円で、平成18年度と比較して11・2%の減となっている。

性質別内訳をみると、義務的経費（人件費・扶助費・公債費）は、前年比で、ほぼ同額となっているが、予算構成比率でみると46・1%で5・1%の増となっている。投資的経費（普通建設事業費・災害復旧費）は前年比39・5%の減で、予算構成比率でも8・5%の減となっている。

96億900万円

一般会計の予算規模は
前年対比88・80%の

【予算概要】

論 点

3月定例議会では、38議案が審議されたが、文教厚生常任委員会に付託された議案第8号、平成19年度一般会計予算に対して修正案が提出され、質疑・討論を行い、議案第8号については賛成多数で原案どおり可決した。なお、修正案に対する少数意見の留保があり、少数意見報告書が議長に提出されたことから、議会最終日、本議会において再度、議案についての討論が行われた。

討論では、不賛成者と賛成者それぞれ二人の議員が意見を述べたあと起立による採決が行われ、原案に賛成者多数により原案どおり可決した。

討論とは、各議案について賛否を問うために不賛成者と、賛成者とがそれぞれの立場で趣旨を申し述べて、賛成、不賛成の意思を表明するもの。

3月定例議会



3月定例議会は、3月9日に招集され、23日までの15日間の会期で開催した。上程された議案は、平成19年度当初予算をはじめ、平成18年度一般会計補正予算、各特別会計補正予算、芦北町副町長の定数を定める条例の一部改正など38議案で、平成19年度一般会計予算を除く議案については、全会一致で原案どおり可決した。

平成19年度一般会計予算については、少数意見報告書が提出され、質疑・討論後の採決の結果、賛成多数で原案どおり可決した。

また陳情4件と請願1件を採択し、人件擁護委員の推薦についても決定した。

一般会計には5議員が登壇し、町執行部の考えや対応策などを聞いた。また、

町長の施政方針(要約)

○社会情勢と芦北町の状況
平成19年度の我が国の経済は、個人消費に弱さが見られるものの、長期停滞のトンネルを抜け出し、民間需要に支えられた緩やかで持続的な景気回復を続けていくと予測されます。

地方においては、平成19年度の地方財政計画において一般会計の総額が確保されたとはいえ、三位一体改革により補助金等の特定財源が一般財源化されたことで、地方財政の規模は6年連続の縮小を余儀なくされ、町財政も引き続き厳しい財政運営を強いられます。

この現状を踏まえ、行政改革の具体的な内容を定めた「芦北町行政改革大綱（集中改革プラン）」を平成18年3月31日に公表し、現在その実施に鋭意取り組んでいます。

○まちづくりの基本方針
わが町の人口は、平成17年度国勢調査によると2万840人となり、前回と比

較すると1,533人減少し、過疎化・少子高齢化に歯止めがかからない状況です。

このような背景のもと、芦北町のまちづくりは、芦北町総合計画において「個性の光る活力あるまちづくり」を基本理念とし、「すべ

ては21世紀を担う子どもたちのために」をテーマとした施策を展開しています。その実現のために、(1)魅力的な地域づくり、(2)人

やさしい快適なまちづくり、(3)生きがいある働き場づくり、(4)豊かな心の人づくり、(5)生活を支える基盤づくり、(6)効率的な行政組織づくりの6点を柱として具体的な施策を行ってまいります。

は農道・林道の原材料支給、果樹園基盤整備、農業施設化事業、漁船機械保全への助成等が、住民生活関係では国保人間ドック受診や、はり・灸・按摩施術、また、家庭用生ごみ処理機購入、まちづくり支援事業への助成等が旧両町の町民にとって有利となるよう設定されたことで、合併のメリットが充分発揮されています。

○結び
今後も国の「骨太の方針2006」と、合併に伴う包括的な財政支援の減少による影響等で右肩下りの財政状況が続くなか、いかに質の高い町民本位の行政サービスを町民に提供できるかを主眼に置き、行政運営を行います。そのためには、国勢の動向や本町の理想とする将来像を見据え、町民ニーズを的確に捉え、町民とのコミュニケーションを大切にして施策を推進します。

陳情4件と請願1件を採択

件名	陳情者	付託先	結果
県道越小湯湯浦線改良工事についての陳情	古石北区長 宮島正文氏 ほか13名	建設経済	採 択
主要地方道芦北坂本線(2期)の早期着工についての陳情	芦北坂本線建設促進期成会 会長 浅野輝光氏ほか5名	建設経済	採 択
湯南(栲上)地区、通称「柳ヶ丘団地」団地内道路の町道認定についての陳情	湯南区長 新村敏春氏 ほか20名	建設経済	採 択
赤松川河口右岸堤防道路の町道認定についての陳情	大字田浦町 内藤隆之氏 ほか26名	建設経済	採 択
南九州西回り自動車道路芦北インター建設に伴う、「薩摩街道佐敷宿」商店街に通ずるアクセス道路建設促進に関する請願	薩摩街道佐敷宿、 さしき町四区商栄会代表 森田晴明氏ほか34名 紹介議員4名	建設経済	採 択

人 事

人権擁護委員の推薦



池田 静彦氏
(古石地区)

【プロフィール】
昭和44年入庁以来、35年間芦北町職員として奉職され、平成18年3月議会事務局長を最後に退職。

芦北町国民保護計画を策定

武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づいて、芦北町の国民の保護に関する計画を作成した。内容は、武力攻撃や大規模なテロから国民の生命、身体及び財産を守り、国民生活や国民経済における影響を最小とするよう、国・県・市町村の役割として、避難、救護、被害の最小化を図るための計画を定めたものである。

第1回臨時議会



矢風川河川災害復旧工事(市野瀬)



教育委員会委員に 竹浦裕道氏を同意

平成19年第1回臨時議会を2月5日に開催した。上程された議案は、平成18年度一般会計補正予算1件で、主に災害復旧に係る各事業の繰越明許費補正を全会一致で原案どおり可決した。
また専決処分された熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加、共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について承認し、同意第一号の教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

平成18年度 補正予算(一般会計)

2億2,650万円を減額



工事の変更があった海浦漁港改修工事

会計名	補正額	会計額
一般会計	2億2,655万円減	115億8,855万円
国民健康保険	1,848万円減	29億5,533万円
老人保健	8,427万円増	30億5,191万円
介護保険	33万円減	19億9,078万円
農業集落排水	1,604万円減	2億5,826万円
町有温泉	2,350万円減	1億 247万円

補正予算の概要

今回は、一般会計と国民健康保険、老人保健、介護保険農業集落排水、町有温泉の各事業特別会計に関する補正予算6件が提案された。

一般会計補正の主なものは、検診事業費で受診者総定数を大きく下回ったため1,070万円の減額。漁港建設費で海浦漁港改修工事の変更による1,763万円の減額。また芦北海浜総合公園管理費では大雨により、リフト支柱が傾き危険なため支柱移設の工事請負費の1,008万円が計上された。

特別会計では、老人保健事業で当初見込んでいた1人当たりの医療費が2万円程度の伸びが見込まれるため、給付費の不足分8,427万円が増額された。



射場団地(花岡)

補正 予算 Q&A

- Q** 街なみ景観整備事業を繰越明許費で補正する理由は。

A この事業については、道路の美装化工事と建物補償であるが、補助金交付決定が平成18年12月18日に国からあり、適正工期を考えると、133日かかるため、年度内にできないことから繰り越した。
- Q** 町営住宅建設費の継続費の補正で、5,642万円増額の理由は。

A 全体計画を立てた平成15年10月の時点では、標準的な工法、単価を採用していたが、実施段階での協議の結果、シックハウス対策やユニバーサルデザインの対策等に加え、エレベーター設置や木造高耐久性向上により一戸当りの単価が上がったことによるものである。

消防団新体制でスタート

総務常任委員会

平成19年度の一般会計予算総額は96億900万円となっている。三位一体改革による補助金等の見直し、地方交付税の削減により引き続き厳しい財政運営を強いられる状況にある。所得税から個人住民税への税源移譲が平成19年度から本格的に実施され、税源移譲の実効性を確保するためにも徴収力強化が重要となってくる。

【企画財政課】

佐敷商店街振興の拠点となる集会所整備や道路美装化工事、御立岬残土処理場作業道整備及び洪水調整池工事、大関水商品の製造・販売等に要する経費が計上されている。また、行政評価システムを導入し、無理無駄のない効率的な行政運営を図るための体制づくりが行なわれ

る。予算総額は17億4,137万7千円

【議会議務局】

議会運営に係る経費が主で、地方分権時代に対応した議会運営に資するため委員会研修費が計上されている。市町村合併の進展による議員数の急減に対する激減緩和措置として、公費負担金率4.5%が別途措置されたことにより、議員共済負担金が約300万円増となっている。予算総額は1億3,245万1千円

【税務収納課】

所得税から個人住民税への税源移譲と償却資産の新規取得を見込み平成19年度の町税総額は15億8,883万6千円で、前年度当初予算に対して2億2,279万7千円の増となっている。歳出総額は2,263万2千円

税源移譲が実施されても収入に結びつかなければ、行政サービスに支障をきたす恐れがあり、これまで以上の徴収率向上に向けた体制の強化を図りたいとの説明

【総務課】

浸水や高潮による人的被害を防ぐための芦北町洪水・高潮ハザードマップ作成委託料、地震発生に伴う建物倒壊による被害の軽減を図るための芦北町耐震改修促進計画策定委託料、田浦基幹支所の耐震調査委託料、文書管理システムの導入に伴い、新たに文書庫を確保するための施設改修工事費、人事評価制度の効果的な運用を図るため評価者及び職員研修を実施する経費等で、予算総額は10億165万3千円

消防団については、4

月から26分団が10分団に再編され、新体制でスタートする。



旧体制での最後の消防点検(3月18日)

【田浦基幹支所】

庁舎の維持管理に係る経費等で、予算総額1,810万2千円 本庁との連絡を密にし、町民の利便性に配慮した業務を行う。

町産材利用の木造住宅建築に補助

建設経済常任委員会

【芦北町一般廃棄物処理条例の一部を改正する条例の制定について】

これはごみ袋代金の改正ですが、今回はごみ処理費用に基づいての代金改正であり、全会一致で原案のとおり可決

【農業委員会事務局】

農業委員26名の報酬や費用弁償、年金友の会会員研修など

【農林水産課】

新規事業として芦北産の子牛を購入するためのあしきた牛銘柄確立対策事業、芦北町産材の消費拡大につなげる芦北町木造住宅建築支援事業など

【芦北町浄化槽市町村整備推進事業条例の一部を改正する条例の制定について】

整備対象を住宅のみから事務所や事業所等にも拡大し、分担金についても、国が定めた基準額の10分の1と明確化するものであり、全会一致で原案のとおり可決

【環境衛生課】

新規事業としてし尿中継タンクの運用改善、集中改草プランに基づく清掃センターの一元化と旧芦北地区の収集運搬業務の段階的外部委託など



芦北木材共販所

【地籍調査課】

天月地区4.61平方キロメートルで地籍細部測量等、白木地区10.38平方キロメートルで地籍図根三角測量等、白石・簸瀬地区6.56平方キロメートルで一筆地調査を行う計画

【水道課】

上井牟田地区水道組合の生活飲用水の安定供給を図るため、水道施設整備に要する経費の2分の1以内の単町補助金

【商工観光課】

地場産業の育成、新規の誘致企業立地促進補助金や宿泊施設整備検討調査業務委託料、大野温泉センター駐車場整備工事、海浜公園施設管理運営委託料、老朽化した観光施設の修繕など

【建設課】

道路維持工事、道路改良6路線と局部改良8路線、

2橋の橋梁新設改良、河川改良、冠水対策費としての調査費、7地区の急傾斜地崩壊対策事業負担金、鶴木山の堤防補強と計石護岸補強事業負担金、湯南団地の水洗化工事等、公営住宅10戸の建設、河川6件の平成18年度過年度災害復旧など

【農業集落排水事業 特別会計予算】

本年度は新たに、汚泥を10分の1程度に脱水処理して堆肥化する方法と、処理場内で消滅する方法を導入し経費の削減を図る

【生活排水処理事業 特別会計予算】

本年度も、合併浄化槽20基の設置、維持管理委託などに要する経費等

【町有温泉事業特別会計予算】

湯浦温泉センター、ヘルシーパーク、計石温泉センター、大野温泉センターの運営に要する経費等

【水道事業会計予算】

本年度は花岡浄水場の着水井・浄水池築造工事や電気計装工事、配水管布設替工事など

【簡易水道事業 特別会計予算】

本年度は、宮田配水池建替工事により対前年比8,420万円の増額



宮田・配水池建替予定地

総合グラウンド整備事業に着手

文教厚生常任委員会

【高齢者対策課】

新たに老人ホームの耐震診断調査委託料と夜間の介護強化
転倒骨折予防事業を介護保険特別会計に移行

【福祉課】

障害者自立支援法の施行により、事業自体の組替や、制度改正に併せた事業の取組み
保育所の外壁改修・空調工事、冷凍冷蔵庫の備品購入費等を措置
児童手当制度改正による増

私立に対する保育所運営委託及び町立の保育士等業務委託料の増

【住民生活課】

戸籍や住基台帳の異動などの事務経費
国民年金の資格取得、喪失、免除申請等の事務経費
保健センターの住民の健康づくり、疾病予防のため

の、母子保健、予防接種、健康教育、相談及び各種検診事業費などを措置

【教育課】

主な新規事業として、児童への社会科副読本の作成、生徒への英語検定試験受検費用の全額助成

学校教育施設の改善に向けての耐震診断、耐力度調査委託料
学校再編のための補助金
児童、生徒の個人情報保護のための情報管理用パソコンの設置費等を措置

【生涯学習課】

生涯学習事業として、町民講座、平成生き生き大学文化振興事業として佐敷城跡の国指定に向けての取組、野添眼鏡橋修復事業、文化財マップの作成
花岡地区埋蔵文化財発掘調査は昨年に引き続き国の委託を受けて実施
スポーツ振興事業とし

て、町民総合センター設立10周年記念事業や総合型スポーツクラブ等の育成強化を図り、町民総合センターをスポーツ振興の拠点施設と位置付けた総合グラウンド整備事業等に要する経費等予算を計上



整備事業に着手する総合グラウンド

【芦北町国民健康保険 事業特別会計】

本年度は、生活習慣病や特定疾病者等増加により、厳しい事業運営であり、医療費の伸びを抑制する事が重要課題
税率改正については、5月に被保険者の所得が決定した時点で税率を検討

【芦北町老人保健 事業特別会計】

前年度と比較して0.09%の減額予算
対象者年齢の段階的引き上げにより、国保事業とは逆に被保険者数が減少状況であるが、これも9月末まで10月1日からは、全員75歳以上となり、一人当たりの医療費は増え続けているため、重複受診や頻回受診者を対象に訪問指導の強化が図られる。

【芦北町介護保険 事業特別会計】

昨年より1億5,600万円の減額で、52名の介護予定者が見込まれている。

【芦北町奨学資金貸付 事業特別会計】

経済的な理由により修学が困難な生徒に対し資金を貸与し、社会的有能な人材を育成する目的での予算措置

一般質問

芦北町総合計画に示されている人材の育成とみんなが主役のまちづくりは？



宮島議員

質

地域づくりのリーダー育成のための研修や情報提供、支援には具体的にどのような取り組みをしているのか。

答 町長

13の地域づくりの団体が、地域固有の資源を発掘・活用してまちづくりに努力している。町は、相談、助言、情報提供の支援を行っている。

質

各種事業について、住民への説明はどのような形で、また、住民の意見を取り入れているのか。

答 町長

85の行政区長を委嘱し、調査・報告や要望、陳情等を行っている。また、重要事業は、その都度区長が説明し、住民の意見を集約し、関係機関にあつている。

公民館活動の活発化は、なされているか

質

公民館活動の重要性について、どのように認識し、自治公民館活動の活発化に取り組んでいるのか。

答 教育委員長

公民館は、地域の方々が集い、文化的、健康的その他問題について協議する地域活動の拠点となっている。本町は、自治公民館活動を推進している。

質

中央公民館長は、未だに不在のままで、教育長に兼務させているが活動

健康づくりのための無料入浴券は、有効に利用されているのか

質

老人公衆浴場無料入浴券の利用状況は、地域別にどうなっているのか。地域間格差をどう是正するのか。

答 町長

入浴券の交付状況は、確かに施設に近いところと遠いところでは差がある。

質

無料入浴券の有効活用を図るため、遠隔地老人の無料入浴の提供を考えたらどうか。

答 町長

本町では、無料入浴券の見直しを考えており、無料入浴の提供の考えはない。現在、県内で入浴券制度のある18市町村で、本町の制度は県下で最高水準である。

一般質問

教育再生会議第一次報告 どう受け止め対応するのか



川尻議員

質 この提言に対し、町教育委員はどう受け止めるか、また「教育委員会一人ひとりの活動状況を公表等行つて住民や議会による検証を受ける」とある。

答 政府は我が国の教育の在り方を全般にわたつて抜本的改革を目指して有識者で構成する教育再生会議を設置し検討を求めたが、その第一次報告が提出された。その中の「教育委員会の在り方そのものを抜本的に問い直す」として具体的改善を提言した。

質 また、「人口5万人以下の市町村に教育委員会の設置を求める」としている。どう受け止めているのか。



楽しみながらの介護予防



質 地域福祉計画の策定期限が三月末となつていて、いつ策定を終え町民に公表するのか。

答 町長 地域福祉計画を18年度の3月中に取りまとめ、公表は5月を予定している。

質 あそびReパークについては、環境省から委託を受けた事業であり、現在、モデル的に社会福祉協議会が開設、運営している。3年間の成果を見て制度化されるか、継続されるか検証が必要となつてくる。また理学療法士等の指導体制の整備等もあり、どこにでも開業できる事業ではないと理解してほしい。

質 介護予防対策のひとつとして「あそびReパーク」が小田浦福祉センターに開設された。本町福祉事業として同様の施設を旧芦北地区に望む声が高いが、これに応える考えはないか。

介護予防対策望む
声高い具体策は！

一般質問

肥後田浦駅前通りの 冠水解消対策について



平松議員

質 今、地球温暖化や異常気象がさけばれ異常気象の発生状況頻度・強度が変化しつつあり被害も増加傾向にある。芦北町でも近年豪雨や台風を原因として、家屋、道路、河川などへの被害が多発している。

質 肥後田浦駅前通りの冠水問題をどのように認識しているか。

答 町長 幾度かの浸水被害は認識し、現場にもかけつけた。担当課に、原因並びに対策を、平成19年度より詳細に調査検討に入るように指示した。基礎調査を待つ間の応急的対応も

現地に足を運び、地元と協議を重ねて対応したい。又、国交省にも直談判し、県とも数度にわたり協議を重ねている。

質 改修工事が必要と思えるが現地調査や原因究明はどのような状況か。

答 建設課長 県道並びに、おれんじ鉄道を横断している排水断面が、部分的に小さいために浸水すると考えている。詳細な調査、測量をしないと細かい数字的な説明は出来ない。



昨年7月の豪雨による浸水(田浦駅前通り)

質 関係機関肥薩おれんじ鉄道、東海カーボン株式会社、熊本県等との調整協議はどのような状況か。



狭くなっている排水口(小田浦)

答 建設課長 県で設置している排水機的能力、運転管理が最も重要な課題だと考え、県とも協議を行っている。能力アップの改善策として、起動水位を下げ排水時期を早めるなど、対応計画調査検討の予算確保に努める。との答えをもらっている。

質 改修工事の計画はどのようなになっていくのか。その箇所、方法、時期等について。

答 建設課長 調査の結果をもつて計画する。

一般質問

本町財政運営について



寺本議員

問 町長
厳しい財政事情下でも行政運営の合理化、効率化等を図り、新町建設への積極的投資、町民へのサービス確保、福祉の向上、安心安全の推進等を

答 町長
合併後の財政運営は住民サービスや福祉の増進、産業の振興、教育の充実、生活の安心安全などに支障が生じていないか。

質
合併して二年余が経過し、新生芦北町の財政は厳しい中にも順調に推移している。合併メリットを生かした町づくりで、税金使用料は低い方に、補助金は高い方に合わせ住民負担は軽減されている。旧田浦関係では介護保険料、保育料の引き下げ、無料入浴券、優良苗木導入補助金、海浦泊排水ポンプ設置事業、宮田貯水池建替事業など。旧芦北関係では農道林道原材料支給事業、ふれあい海浜開放事業、果樹園基盤整備農業施設化事業、障害者福祉手当などある。

問 企画財政課長
繰越明許費は歳出予算のうち、その性質上、または予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらない見込みのあ

答 企画財政課長
会計年度独立の原則の例外として繰越明許費と継続費がある。この法的意味と解釈について伺いたい。

質
類似団体以上の予算規模である。

答 企画財政課長
財政運営の判断材料として予算規模は類似団体と比較してどうか。

問 企画財政課長
今後厳しい状況は続くと思われるが、現在、行政評価システムを導入し、効果的、効率的な財政運営が出来るように取り組んでいる。



祝坂橋災害現況

問 助役
一年以内の工期の中で出来るので繰越明許費である。

答 助役
先の議会でも、祝坂橋災害復旧工事の繰越明許費について継続費ではないかと意見があったがどうか。

質
継続費は2年度以上にわたって支出する経費を一括してその総額及び年割額について予算で定め、数年度にわたって支出することである。

問 町長
必要に応じ制度の範囲内で行っている。水俣芦北管内の平成18年度12月並びに3月の繰越明許費は、件数で、津奈木4件、水俣20件、芦北11件である。

一般質問

田浦地区の現行防災行政無線を活用する考えは！



元山議員

田浦地区の現行防災行政無線と新システムの相違点の中で、屋外拡声子局については、田浦基幹支所のみ設置され、既存の屋外拡声子局は廃止する計画になっている。

問 町長
既存の屋外拡声子局を廃止する理由は何か。

答 町長
危機管理や平常時の行政情報の伝達手段が異なることから、合併を機に情報伝達方法の一元化を図るため。

質
廃止することについて、地域防災に係わる消防団や地区会長の意見集約が行われたか。



現況の屋外拡声子局

問 総務課長
地区座談会や分団長会議で説明しているが、理解を深めるために、今後開催する分団長会議、区長会議等で説明を行い、理解を求める。

質
火災をはじめとする昼間の災害時、消防団の緊急出動や町民の避難等に支障をきたすことが考えられるので、今後も既存の屋外拡声子局を活用する考えはないか。

答 総務課長
免許を付与する総務省の方針や費用対効果等も勘案し、持ち運び可能な個別受信機による情報伝達が最良の手段と考えている。

県の田浦港港湾海岸環境整備事業によって、平成14年度に完成した松ヶ崎海水浴場の一般開放は唯一の進入道路である県道田浦港線の改良工事の終了を待っている状況にある。

問 建設課長
県の説明では、平成23年度中に完成の予定である。

答 建設課長
松ヶ崎海水浴場の管理運営について、どのような協議がなされてきたか。

質
県に確認した結果、大規模な修理については県で対応し、海水浴場施設としてオープンが決まる前年度で対応する。

問 町長
非常に立派な施設なので第三者を含む議論やプロジェクトチームを作り意見を聞いて発想計画をして行く。

質
管理施設の水の確保が課題となっているが、どのような対策を講じられるのか。

答 建設課長
30トンタンクで利用客数2,100人に対応できる。

松ヶ崎地域の
今後の計画について

議会のうごき

- | | | |
|----|-----|--------------------------|
| 1月 | 4日 | 賀詞交換会 |
| | 5日 | 商工会新春懇談会 |
| | 7日 | 佐敷小学校新校舎落成式 |
| | 8日 | 芦北町成人式 |
| | 14日 | 熊日三太郎駅伝大会 |
| | 26日 | 県町村議会議長会第5回理事会 |
| 2月 | 2日 | 議会運営委員会 |
| | 5日 | 第1回臨時会 |
| | 14日 | 町村新議員研修会 |
| | 18日 | 第8回芦北うたせ杯
ジュニア空手道大会 |
| | 19日 | 芦北町教育研究大会 |
| | 21日 | 県町村議会議長会第57回定期総会 |
| | 28日 | 芦北3期広域農道鶴木山トンネル
工事貫通式 |
| 3月 | 6日 | 議会運営委員会・全員協議会 |
| | 9日 | 定例会（開会） |
| | 12日 | 各常任委員会（～16日） |
| | 16日 | 水俣・芦北地域振興財団理事会 |
| | 19日 | 定例会（一般質問） |
| | 20日 | 水俣芦北広域行政事務組合議会定例会 |
| | 21日 | 三つ島トンネル開通式 |
| | 23日 | 定例会（閉会） |
| | 25日 | 芦北うたせマラソン大会 |



大丸清光議員

「全国議長会自治功労者表彰」の栄誉

大丸議員は、熊本県町村議会議長会会長として、地方自治の振興発展に寄与せられるとともに、会務運営、議会議員、事務局職員の研修の

強化等を積極的に行う等数々の功績が認められて、今回の受賞となりました。同議員は、昭和62年5月旧田浦町議会議員に初当選、平成3年5月より経済建設常任委員会副委員長、平成7年5月より同委員会委員長、平成11年5月より議会運営委員会委員長を歴任後、平成13年4月議長に就任され、その後、平成15年5月より葦北郡町村議会

議長会会長に就任し、平成15年6月より平成16年12月まで熊本県町村議会議長会副会長を務められました。芦北町合併後、平成17年1月芦北町議会議長に就任し、平成17年2月より平成17年5月まで再び同副会長を務め、平成17年6月より平成18年2月まで同会長を務められました。

議会傍聴に是非おいで下さい。

次回の定例会は6月下旬の予定です。



議会広報特別委員会

委員長	元山 秀志
副委員長	前田 徹一
委員	宮尾 秀行
宮島 康浩	白坂 逸男
古村 安	寺本 順一

年4回にわたる定例会も無事終了した。議会、議員として、自らを反省してみること、その存在価値を発揮できたであろうか。わが国の地方自治は二元代表制の形態をとっており、住民が、自分の代表として首長と議員を個別に選ぶことになっていく。したがって、選ばれた首長と議員は、それぞれ住民に対して政治責任を負うことになる。多様化する住民の声を、議論を通じて統一的意思にまで高めることが、われわれの任務である。首長と議員の間にはともに協力し合う関係も必要であるが、チェック機能と一定の緊張関係もなければならぬ。「財政破綻した夕張市のようにならないためにも。」

（宮島）

編集後記

